

9月18日(月)

従う信仰

聖書朗読 ヨシユア記 6: 1~20

信仰によって、人々が七日の間エリコの城の周囲を回ると、その城壁はくずれ落ちました。

ヘブル 11:30

カナンに侵入していくイスラエル人にとって、主の戦略は、よく意味のわからないものだったでしょう。彼らの考えでは、軍と武器によって町は制圧されました。七日間エリコの周りを行進し、ラッパを吹くというのは従来 of 戦術に反するものでした。神の民は、主を信頼して命令に従うか、それとも主の権威に逆らって自分たちが良いと思う事を貫くか、選択を迫られました。

信仰とは、自分にとって意味をなす、なさないに関わらず、与えられた命令に従うことです。それは、私達が、命令を与えられるお方を信じているからです。神の民は、主を信頼し信仰によって神に服従する時、町を制圧することができます。人生における様々な状況を克服することができます。私達はどうでしょう。神の命令に従いますか？敵を愛することができますか？右の頬を打つ者に、左の頬を向けられますか？困難にある時にも前に進み続けることができますか？私達が信仰をもって主に従うことを選ぶ時、崩すことができた大きな壁に驚くかもしれません。

讃美歌 270

祈り 主よ、私達はあなたの過去の偉大な行い知っています。変わることなく思いやりと優しさを私達に注がれるあなたを讃えます。全ての節目において、あなたの恵みを見ることのできる目を与えてくださいますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 グランベリー
ジャン・ノックス

今日の力

2023年9月18日~9月24日

翻訳 ハイステン・悦子
(マッカーサーパークキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月19日(火)

ほんの少しの忍耐

聖書朗読 ヨシュア記 6:6~12

あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主の来られるのが近いからです。
ヤコブ 5:8

重要な行事のために準備をしていたのに、それがキャンセルされてしまったことを想像してみてください。手術を受けるためにわざわざ病院に行ったのに、家に帰されてしまった。文句も言わず、泣き言も言わず、疑うこともなく、こんな事を何度も繰り返すことを想像してみてください。“早くして”、“さっさと終わらせて”、“いい加減にして”、などと言うことは出来ません。こんな事を6回も繰り返す忍耐力がありますか？

これはまさに、イスラエルの民がエリコに来た時の状況でした。戦士たち、七人の祭司は、主の契約の箱と共に、エリコの周りを六日間行進しなければなりません。ヨシュアが“声をあげよ”と言うまで、イスラエル人たちは行進を続けなければなりません。戦いに備えていた戦士たちは、ただ町の周りを行進して家に帰ることを繰り返しました。明日は遂にその日が来るのか？町の周りを行進した六日間、話をする者はいませんでした。聞こえたのは祭司が吹いた角笛の音だけでした。それは、忍耐を要するものでした。忍耐力不足がイスラエル人を荒野にとどまらせ、忍耐力がイスラエルを勝利へと導きました。

私達は難しい問題に対して、早急な答えを求めがちです。私達にも、忍耐力が必要です。私達は、ファーストフードのお店に行き、セルフサービスのレジを使い、速達料金を払い、信号が青になると前の車にクラクションを鳴らします。どんな些細なことにも、忍耐力を用いましょう。

讃美歌 472

祈り 天のお父様。今日を生きるための忍耐力を与えてください。私に対して忍耐して下さりありがとうございます。私も周りの人たちに対して忍耐強くあることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル
ジョシュ・バーネット

9月20日(水)

次の世代に教えるため

聖書朗読 士師記 13:1~8

私は、・・・昔からのなぞを物語ろう。それは、・・・私たちの先祖が語ってくれたこと。それを私たちは・・・後の時代に語り告げよう。

詩篇 78:2~4

神の御使いは、不妊の女の前に現れ、彼女は男の子を授かりその子はナジル人であると言いました。ナジル人は、聖別された、神に使える特別な者でした。神はまだこの男の子が生まれる前から、御計画をもっておられました。マノア、彼女の夫は、このメッセージの意味を理解して、こう神に祈りました。“ああ、主よ。どうぞ、あなたが遣わされたあの神の人をまた、私たちのところに来させてください。私たちが、生まれてくる子に、何をすればよいか、教えてください。”(士師記13:8) マノアは、自分と妻が、神への働きのために聖別された息子を育てる準備ができていないことを知っていました。そこで、神からの導きを求めました。

これは、親にとって何で特別で素晴らしい祈りのお手本でしょう。この祈りは、子供が生まれて成長していく中で、神の継続した助けを求める祈りでした。親は、子育ての最中だけでなく、成人した子供にアドバイスを与える中でも、神の導きを求めるべきです。マノアと妻の間に生まれた子供は、サムソンと名付けられました。そして、御使いが前もって伝えたように、イスラエルをペリシテ人の手から救い出し始めました。

聖歌 651

祈り 全能の神様。私たちの子供たちが、あなたの聖なる御名に祝福を与えることができるように、小さな子供も、成長した子供も、教え導いていく知恵を私たちに与えてください。イエスのお名前をとおして。アーメン。

カリフォルニア州 シミバリー
ブルース・ローグ

9月21日(木)

完全なものにされた力

聖書朗読 ヨシユア記 16:10~21

わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。

Ⅱコリント 12:9

サムソンは、聖書の中で最も波乱に満ちた、不器用で、不幸な人物でした。彼は無謀で、特に女性の前では間抜けな性格でした。デリラはサムソンを楽器のように操り、悲惨な結果へと招きました。サムソンはペリシテ人に目を奪われ、鎖でつながれました。では、サムソンのどこが“英雄”なのでしょう？へブル人への手紙11章の中にどうしてサムソンの名前が出てくるのでしょうか？

私たちが正直であれば、私たちもまたサムソンのようであると言えることができます。私たちも、一度や二度でなく、何度も大変な間違い繰り返します。サムソンは、強くて賢いからではなく、最後に神に忠実であったので、英雄と呼ばれるのです。サムソンは、彼の強さの真の源は、髪の毛や筋肉にあるのではなく、神にあることを学びました。

使徒パウロも、同じことを発見しました。「ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」(Ⅱコリント 12:10) 良い知らせがあります。神が、サムソン(強情で無能な指導者)や、パウロ(数え切れないクリスチャンの迫害や殺害に加わった)をも変えることができるなら、私たちはみな希望を持つことができます。

讃美歌 424

祈り 親愛なる主よ。私の数えきれない愚かさや弱さを許してください。あなたの恵みを与えてください。そして、あなたの御霊の力によって、私の弱さをあなたの栄光へと変えてくださいますように。キリストを通して。アーメン。

テキサス州 アビリン
デリル・ティップンス

9月22日(金)

天気の良い時だけの友達

聖書朗読 ルツ記 1:10~22

真実にあなたがたのことを心配している者は、ほかにだれもないからです。

ピリピ 2:19~20

私の母は、肝心な時に頼ることのできない人のことを、“天気の良い時だけの友達”と呼びました。それは、人生が晴天の時、物事がうまくいっている時は集まってきたり、人生が曇りだすと離れていく人たちのことです。

ナオミは、飢きんのために夫や息子たちとユダから東のモアブへと逃げた際に、誰が真の友人であるかを知ることになりました。モアブにいる時に、ナオミの夫と息子たちが亡くなり、ナオミとモアブ人の義理の娘であるオルパとルツだけが残されました。

当時、女性への手助けや機会は限られていたので、ナオミが生き延びるための唯一の方法は、故郷のユダの家族のもとに帰ることだけでした。ナオミが、オルパとルツが彼らの故郷に残って将来の安定のために再婚することを予測していたことは、明らかです。

でも、ルツは“嵐の時の友達”でした。ナオミが、オルパとルツにモアブに残るように説得しようとしたとき、ルツはこう言いました。「あなたの行かれる所へ私も行き、あなたの住まれる所に私も住みます。あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。」結婚式でよく使われるこの聖句は、真の友情を表しています。ルツは、困難によっても壊されることのない豊かな友情の手本です。

讃美歌 402

祈り 親愛なるお父様。“一番を目指す”この社会の中では、困難にある時、自然と反対の方向へ逃げてしまいます。ルツに見られるような人格を育み、どんな時も側にいられる友人であることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ブルース・ローグ
カリフォルニア州 マースト

9月23日(土)

母親の働き

聖書朗読 Iサムエル記 1:1~8

私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、・・・あなたの子どもたちによく教え込みなさい。

申命記 6:6~7

聖書にみられる、神を求める母親の見本は誰でしょうか?“わたしが必ず父の家にいることを、ご存じなかったのですか?”と言ったイエスの言葉を心にそっとしまい込んだマリヤ。(ルカ2:47)

テモテの祖母と母親、ロイスとユニケは、テモテが神に使える立派な大人に成長するために尽力しました。彼らは、信仰をテモテに受け継ぎ、テモテが神の御言葉を熟知することに最善を尽くしました。(IIテモテ1:5, 3:15)

そして、ハンナです。マリヤが息子を神にささげ、ロイスとユニケもテモテを神にささげたように、ハンナも、その子が生まれる前から、子どもを授かると知る前から、子どもを神にささげるつもりでいました。ハンナは、神との約束が、祭司のエリがその子を育てるということを意味しても、約束を守りました。

人間の行いが理解不能なことがあります。母親の子に対する愛情、そして、母親が子を神にささげるということに、説明はつきません。母親は神からの私達への贈物です。神に仕える母親を私たちに与えてくださる神を讃えましょう。そして、すべての人がこの強い愛を知ることができますように。

讃美歌 510

祈り 親愛なるお父様。あなたに献身的に仕え、そして私達にも献身的に仕えてくれる母親達の手本に感謝します。神に仕える母親達に、あなたの姿を見ることができると感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

アリゾナ州 ペオリア
ペニー・ニコルス

9月24日(日)

神を信じない文化に生きる

聖書朗読 Iサムエル記 9:20

ハンナは心のうちで祈っていたので、くちびるが動くだけで、その声は聞こえなかった。それでエリは彼女が酔っているのではないかと思った。

Iサムエル記 1:1~13

なんて哀れなエリ!彼は、神を信じない文化に流されてしまいました。彼は、ハンナも不道徳で神を信じないものだと思ってしまいました。今日の世の中でも、エリと同じようなことをしてしまいがちです。全世界は“墮落していつている”とよく耳にするとします。

エリの時代からしばらくたって、預言者エリヤも、神を信じるのは自分だけだと思いました。神はエリヤに、まだ神を信じない文化に流されずに神に従う者たちが、7千人もいることを伝えました。

求めれば見つかると、イエスは約束されました。私達は、悲観的に、批判的に、非難するだけでなく、良いところを期待をもって探してみてもどうでしょうか。神の民は、いつでも前向きで、希望を持って、励ましていくべきです。信仰深いハンナの人生は、エリが間違っていたことを証明しました。文化がいつも勝つとは限りません。それは、神を信じる者たちの信仰と愛の人生が証明するのです。

神様、あなたはどこにでもおられ、あなたがおられない所に私達は存在できないのですから、私達は弱々しく恐れることはありません。—ジョン・ボウリング

讃美歌 II152

祈り お父様。ハンナが生きた時代のように、私達も困難な時代に生きています。私たちが良いものを見て、希望を持って、期待して、励ましていけますように。イエス、良いお方のお名前によって。アーメン。

ネバダ州 カーソンシティー
ブルース・ヘンダーソン